

生誕 100 年 映画俳優 三船敏郎

Toshiro Mifune Retrospective at His Centenary

2020年10月2日(金)～10月22日(木)

国立映画アーカイブでは、三船敏郎の生誕100年を記念して、10月2日(金)より3週間にわたり特集上映を開催いたします。

戦後の日本映画にガラガラとした活力を注ぎこみ、黒澤映画と共に世界へ羽ばたき、多くの映画ファンや映画人から愛された不世出の映画スター・**三船敏郎**(1920-1997)。本特集では、三船のデビュー作『**銀嶺の果て**』(1947)をはじめ、初主演作『**酔いどれ天使**』(1948)や『**羅生門**』(1950)、『**七人の侍**』(1954)といった代表的な黒澤作品はもちろんのこと、爽やかな青年医師や武骨な父親、乗客の人生模様を見つめるタクシー運転手、暗黒街を捜査する刑事、威厳のある軍人など、**三船の俳優としての芸術の広さを示すさまざまな出演作品**を上映。さらに、三船唯一の監督作品『**五十万人の遺産 LEGACY of the 500,000**』(1963)および、プロデューサーとしても手腕を発揮した『**黒部の太陽**』(1968)、『**風林火山**』(1969)、『**赤毛**』(1969)といった三船プロ製作の大作、そして最後の出演作『**深い河**』(1995)もラインナップに含み、**計 27 作品**(27プログラム)によって、この偉大な俳優の足跡を振り返ります。ぜひこの機会に、多くの映画ファンの皆さんへの周知にご協力を賜りますと幸いです。



『吹けよ春風』

三船敏郎

1920年、中国・青島生まれ。6年間の軍隊生活ののち、1946年に東宝第一期ニューフェイスに合格。1947年『**銀嶺の果て**』(谷口千吉)で俳優デビューすると、翌年の『**酔いどれ天使**』(黒澤明)では結核に侵されたやくざを熱演。以後、黒澤作品をはじめとして数々の映画に主演し、戦後の日本を代表する俳優となる。また、1961年の黒澤明監督作『**用心棒**』でヴェネチア国際映画祭男優賞を獲得するなど、世界中で熱狂的な人気を誇り、メキシコ映画やハリウッド映画などにも出演した。1962年に東宝から独立し、撮影所も所有する三船プロダクションを設立。プロデューサーとしても話題作や超大作を製作するなど活躍し、日本映画を活気づけ続けた。最後の出演作は1995年の『**深い河**』(熊井啓)。1997年死去。



『銀嶺の果て』

見どころ

デビュー作から遺作まで…

膨大なフィルモグラフィから厳選した27作品を上映

生誕100年を記念して、27歳から75歳までの三船の映画人生をスクリーンで振り返る大型特集プログラムです。映画史上でも名高い代表作に加えて、再評価すべき秀作も取り上げて足跡を辿ります。時代劇・アクション映画・社会派ドラマでの精悍でエネルギッシュな熱演とともに、ホームドラマや恋愛映画での人情や優しさあふれる好演も特筆に値します。主演作の他、独特な存在感を示した助演作『男ありて』『妻の心』『この二人に幸あれ』も取り上げます。三船の豊かなキャリアを回顧するとともに、新鮮な魅力に触れる機会になればと願ってやみません。

三船と組んだ名匠たち

黒澤明、稲垣浩、谷口千吉、岡本喜八、本多猪四郎、成瀬巳喜男、木下恵介、熊井啓、山田洋次…日本映画を代表する名だたる監督たちとの協働を重ねてきた三船の出演作には日本映画史のエッセンスが凝縮されています。

監督やプロデューサーとして日本映画を支えた“世界のミフネ”

1962年以降は、自身のプロダクション・三船プロダクションを率いて、監督やプロデューサーも兼ねながら精力的な映画作りを行い、日本映画を支えました。石原プロとタッグを組んだ超大作『黒部の太陽』や、本格時代劇『風林火山』は、当時の日本映画年間トップの興行成績を記録しました。三船プロ製作の5作品を上映し、俳優の粹にとどまらない日本映画への貢献をひもときます。

バリアフリー上映『暗黒街の対決』

三船のハードボイルド的な魅力が凝縮された娯楽アクション映画『暗黒街の対決』（1960、岡本喜八）のバリアフリー上映を行ないます（10月17日（土）1：30PMの回）。聴覚障害の方向けの日本語字幕と、映画の音声を増幅するヒアリンググループシステム座席をご用意しています。また、視覚障害の方向けの音声ガイドをFM配信し、ラジオ貸出もいたします。詳細はHPをご覧ください。

HP：<https://www.nfaj.go.jp/exhibition/mifune202009/#section1-6>

協力：社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター、Palabra 株式会社



『暗黒街の対決』



『赤毛』

上映作品リスト

27 プログラム(全 27 作品)

	作品名	公開年	監督	三船敏郎の役名
1	銀嶺の果て	1947	谷口千吉	強盗犯・江島
2	酔いどれ天使	1948	黒澤明	闇市のやくざ・松永
3	<small>エンゲージリング</small> 婚約指環	1950	木下恵介	医師・江間猛
4	羅生門[デジタル復元版]	1950	黒澤明	盗賊・多襄丸
5	馬喰一代	1951	木村恵吾	馬喰・片山米太郎
6	港へ来た男	1952	本多猪四郎	船舶操縦士・新沼五郎
7	吹けよ春風 <small>※英語字幕付き上映</small>	1953	谷口千吉	タクシー運転手・松村
8	七人の侍	1954	黒澤明	七人目の侍・菊千代
9	顔役無用(男性 NO.1 より)	1955	山本嘉次郎	ダフ屋の顔役・牧
10	男ありて	1955	丸山誠治	プロ野球選手・矢野光男
11	妻の心	1956	成瀬巳喜男	銀行員・健吉
12	蜘蛛巣城	1957	黒澤明	武将・鷲津武時
13	この二人に幸あれ	1957	本多猪四郎	音楽家・丸山俊夫
14	暗黒街の対決	1960	岡本喜八	刑事・藤丘三郎
15	ハワイ・ミッドウェイ大海空戦 太平洋の嵐	1960	松林宗恵	二航戦司令官・山口多聞
16	用心棒	1961	黒澤明	浪人・桑畑三十郎
17	どぶろくの辰	1962	稲垣浩	どぶろくの辰
★18	五十万人の遺産 LEGACY of the 500,000	1963	三船敏郎	元陸軍少佐・松尾武市
19	大盗賊	1963	谷口千吉	呂宋助左衛門
★20	侍	1965	岡本喜八	新納鶴千代
★21	黒部の太陽	1968	熊井啓	現場責任者・北川覚
22	連合艦隊司令長官 山本五十六	1968	丸山誠治	山本五十六
★23	風林火山	1969	稲垣浩	山本勘助
★24	赤毛 <small>※英語字幕付き上映</small>	1969	岡本喜八	赤毛の権三
25	日本の首領 <small>どん</small> 野望篇	1977	中島貞夫	関東同盟理事長・大石剛介
26	男はつらいよ 知床慕情	1987	山田洋次	獣医・上野順吉
27	深い河	1995	熊井啓	元日本兵・塚田

★…三船プロ製作作品

企画概要

企画名：生誕 100 年 映画俳優 三船敏郎 Toshiro Mifune Retrospective at His Centenary

会期：2020 年 10 月 2 日（金）－10 月 22 日（木）＊月曜休館

会場：国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール O Z U [2 階]

主催：国立映画アーカイブ

お問い合わせ：050-5541-8600（ハローダイヤル）

ホームページ：<https://www.nfaj.go.jp/exhibition/mifune202009/>

チケット：

新型コロナウイルス感染症予防のため、前売指定席券のみとし、当日券は扱いません。

（障害者及び国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズを除く）

◆前売指定席券

一般・シニア・学生の方は前売指定席券をご購入ください。

9 月 18 日（金）10 時 am より、チケットぴあにて全上映回の前売指定席券（全席指定席・通常 90 席）を販売します。[P コード：551-139]

〈料金〉一般：520 円／高校・大学生・シニア：310 円／小・中学生：100 円

◆障害者・キャンパスメンバーズ等券

障害者（付添者は原則 1 名まで）ならびに国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズを対象に、各日の開館時より 1 階受付にて障害者・キャンパスメンバーズ等券（21 席）発券をします。

〈料金〉障害者（付添者は原則 1 名）、キャンパスメンバーズ：無料

関連企画

公開 70 周年記念 映画『羅生門』展

上映会と関連した展示企画。ヴェネチア国際映画祭での金獅子賞受賞などにより黒澤明の名と日本映画の存在を世界に知らしめた傑作『羅生門』の世界を、劇場公開から 70 年、監督生誕 110 年にあたり、脚本・撮影・美術ほかさまざまな視点から分析し、その美の核心に迫る展覧会。

会期：2020 年 9 月 12 日（土）－2020 年 12 月 6 日（日）＊月曜日は休室です。

会場：国立映画アーカイブ 展示室 [7 階]

HP：<https://www.nfaj.go.jp/exhibition/rashomon2020/>

*詳細は当館HPやプレスリリースなどをご覧ください。

広報画像や特集詳細に関するお問い合わせ

国立映画アーカイブ（上映室：横田・森宗・玉田）

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6 MAIL：pr@nfaj.go.jp TEL：03-3561-0823 FAX：03-3561-0830